

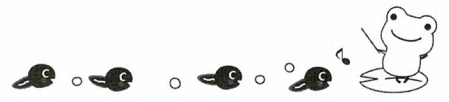
# wish ●●●ウィッシュ

前橋市手をつなぐ育成会報

ホームページアドレス <http://m-teotunagu.moo.jp/>  
 メールアドレス [info@m-teotunagu.moo.jp](mailto:info@m-teotunagu.moo.jp)

発行所  
 前橋市手をつなぐ育成会  
 前橋市東上野町459-1  
 前橋市立前橋特別支援学校内  
 TEL027-260-3001  
 発行人 原澤 正光  
 印刷所 マルエー印刷  
 TEL 027-232-1684

## 平成30年度 前橋市手をつなぐ育成会総会



平成30年5月31日(木)、前橋市総合福祉会館において、来賓の山本龍市長様のメッセージの代読として前橋市福祉部長の松井英治様が読み上げてくださり、前橋市教育委員会教育長塩崎政江様、塚田昌志前橋市社会福祉協議会会長様にご出席いただき、励ましのお言葉を頂戴いたしました。



多くの理事さんにもご出席いただき、昨年度の事業・会計・監査報告、今年度の事業計画、会計予算も承認されました。今年度も基本方針を大切に知的な障害のある人、それを支えるすべての方の充実のために、活動してまいります。皆様のご協力をよろしくお願いいたします。



## 前橋市手をつなぐ育成会 平成30年度 基本方針

本会が支援対象の中心としている知的な障害のある方々は、自分の気持ちを表現し伝えることが苦手という方が少なくありません。そのため、周囲で支援する立場の者が、わかりやすく情報を本人に伝え、また生活のスタイルや方向性等の選択を促しながら、丁寧に本人の意思を引き出し受けとめていく必要があります。そして、そのニーズに合わせて適量の援助を行い、地域の中で共に生きる力を支え育てていくことこそが、本会の活動の基本となるものであります。

ノーマライゼーション・共生社会などの福祉理念は、概ね社会の中に浸透してきたように思えます。国の法制度も「障害者総合支援法」「児童福祉法」が一部改正、今春より施行されました。重度障害のある人や虐待児童を支える仕組みの整備が進み、地域の中での暮らしを支える新しいサービスも創設、また懸案であった本人が高齢化してからの生活についても、現行の支援事業所の利用継続が可能になる仕組みが導入され、制度的には一歩ずつですが前進しているように思われます。

しかしながら現実的には、地域の中で安心した生活を支えるべき社会資源はまだ不十分で地域間の格差も大きく、地域生活支援の中心的役割を期待していた「地域生活支援拠点」等の整備については、昨年度末までには全国のすべての福祉圏域で1カ所以上の整備を基本として計画されていたにもかかわらず、多くの圏域で実現できず、群馬県内では1カ所も設置されていないのが現状です。

このような厳しい状況の中、前橋市においては、第5期障害者福祉計画および第1期障害児福祉計画を策定し、平成32年度までに整備すべき社会資源の目標値と、その確保のための方策が明示されました。この目標が着実に達成され、より現実的なニーズに合致した質の高い資源の整備につなげていくためには、私たち当事者団体が、当事者としての意見を集約し、その思いを行政や事業者にも明確に伝え、積極的に協力しながら、共に推進していくことが大切であると考えております。本会としてもその責任を重く受け止め、しっかりとした役割を担っていき決意を持って活動していきます。

また本人活動支援や権利擁護システムの整備、関係者間の連携強化など、本人や家族が社会の中で、安心して生き生きと暮らしていけるような環境を構築していくことも重要な課題です。

障害者基本法の「すべての障害者は、個人の尊厳が重んぜられ、その尊厳にふさわしい生活を保障される権利を有する」というあたりまえの基本理念が、現実のものとなるよう今年度も活動を続けてまいります。

平成二十九年度 会計決算報告

1.収入の部

(単位/円)

項目	平成29年度予算額	平成29年度決算額	備考
繰越金	243,001	243,001	前年度より
会費	1,300,000	1,177,510	普通会員475人、賛助会員513人、PTA団体会費33校
補助金等	630,000	650,000	市補助金48万、県育成会委託事業15万、県サポート協会2万
雑収入	1,000	48,505	行事参加費、利子等
計	2,174,001	2,119,016	

2.支出の部

(単位/円)

項目	平成29年度予算額	平成29年度決算額	備考
事業費			
会報発行	180,000	146,246	年3回(印刷・郵送等)
施設見学会費	120,000	63,980	前教研・特担会研修の貸切バス代
県育成会委託事業	150,000	225,109	料理教室、ゆうあいハイキング
保護者会等活動助成	250,000	249,000	光明園、たんぼ学園、アスト前橋、まほろ、サニースマーケット、らいず、なかま、第1・2・3作業所、デイサービスセンター
学校関係活動助成	80,000	80,000	特別支援学級・特別支援学校作品展協賛金
団体組織の活動助成	230,000	225,000	前特同窓会、からたち学級、わの会、水泳クラブ、陸上クラブ、フライングディスククラブ
研修費	180,000	67,439	研修会、県大会、関ブロ大会の参加費・交通費等
地域生活支援事業	120,000	46,116	おしゃべり会、保護者会交流会、ボウリング大会
事務局費			
会議費	110,000	78,972	事務局員会議等
需用費	120,000	118,423	散歩の駆使用料、封筒、コピー用紙等
通信費	50,000	31,025	切手、メール便送料、インターネット接続料
交通費	260,000	244,100	事務局員の行動旅費
備品購入費	20,000	0	
負担金	288,000	288,000	県育成会、社協、福祉パレード、相談員連協会費
その他			
雑費	10,000	7,994	慶弔費等
予備費	6,001	0	
計	2,174,001	1,871,404	

3.差引残高(次年度へ繰越し) 収入 2,119,016 - 支出 1,871,404 = 差引残高 247,612

特別会計決算報告

1.収入の部

(単位/円)

項目	金額	備考
繰越金	396,554	地域生活支援事業準備金
雑収入	3	利子等
計	396,557	

3.差引残高(次年度へ繰越し) 収入 396,557 - 支出 0 = 差引残高 396,557

平成三十年度 会計予算

1.収入の部

(単位/円)

項目	平成30年度予算額	備考
繰越金	247,612	前年度より
会費	1,300,000	普通、賛助、PTA団体会費
補助金等	650,000	市補助金48万、県育成会委託事業費15万、県サポート協会2万
雑収入	1,000	利子等
計	2,198,612	

2.支出の部

(単位/円)

項目	平成30年度予算額	備考
事業費		
会報発行	180,000	年3回(印刷・郵送等)
施設見学会費	120,000	前教研・特担会研修の貸切バス代
委託事業費	150,000	ハイキング12万、料理教室3万
保護者会等活動助成	270,000	申請により助成
学校関係活動助成	80,000	特別支援学級・特別支援学校作品展協賛金
団体組織活動助成	230,000	申請により助成
研修費	150,000	研修会・県大会・関ブロ・全国大会の参加費・交通費等
地域生活支援事業	140,000	地域生活勉強会等
事務局費		
会議費	120,000	事務局員会議等
需用費	120,000	封筒、コピー用紙、トナー、インク等
通信費	60,000	切手、インターネット接続料
交通費	260,000	事務局員の行動旅費
備品購入費	20,000	備品、修理費
負担金	288,000	県育成会、社協、福祉パレード
その他		
雑費	10,000	慶弔費等
予備費	612	
計	2,198,612	

1.収入の部

(単位/円)

項目	金額	備考
繰越金	396,557	地域生活支援事業等準備金
本会計繰入金収入	0	
計	396,557	

予算 特別会計

## 平成30年度 事業計画

### (1) 啓発事業

- ①会報の発行  
年間3～4回を目標に発行  
全会員及び関係機関に寄贈  
各学校・施設の紹介や行政の動向等情報をお伝えします。
- ②福祉パレード 担当団体として運営 9月11日(火)  
県庁での集会及び前橋市集会、その後パレード等啓発行事等実施
- ③市内特別支援学級・特別支援学校作品展覧会への協賛
- ④インターネットの活用  
ホームページにて本会の紹介等を行います。  
(ホームページアドレス)  
[http:// m-teotunagu.moo.jp/](http://m-teotunagu.moo.jp/)  
(メールアドレス)  
[info@m-teotunagu.moo.jp](mailto:info@m-teotunagu.moo.jp)

### (2) 研修事業

- ①施設見学会  
前教研特別支援教育部会、特別支援学級担任会、育成会の共催で貸切バスの費用を負担します。
- ②大会への参加  
・群馬県手をつなぐ育成会大会  
(7/28 安中市文化センター)  
・全国手をつなぐ育成会連合会 関東甲信越大会  
(9/14 川崎市)  
・全国手をつなぐ育成会連合会 全国大会  
(2/23～24 京都市)
- ③保護者研修会への参加・協力  
群馬県手をつなぐ育成会主催 10月開催予定  
(今年度は「親なきあと」をテーマにした研修会)
- ④健康増進研修 (自主事業)  
おしゃべり交流会の拡大判として実施予定

### (3) 委託事業

- 県の「レクリエーション活動等推進事業」を受託して行います。  
今年度受託予定事業  
・ハイキング (ゆうあいハイキング)  
自然とふれあい生きる力を育みながら、仲間や支援者との交流を深めます。 11月10日(土)～11日(日)  
国立赤城青少年交流の家を会場に実施予定  
・料理教室

### (4) 団体等の活動費助成

- 本人たちの余暇活動(休日や夜間)や、各施設の保護者会・家族会活動の充実を目的に助成します。

### (5) 関係機関・団体との連携、陳情行動

- 関係機関、自立支援協議会、施設・作業所保護者会等との連携を強化し、意見交換や課題分析、ニーズの集約などを行い、必要に応じて市に対して意見陳情や政策提言を行っていきます。

### (6) 地域生活支援事業

- ①保護者会等交流会  
施設・作業所保護者会、特別支援学校PTA等の交流会を開催します。  
年3回(8月・12月・3月)開催予定
- ②権利擁護や相談支援体制を整備します。
- ③本人部会結成及び活動の支援を行います。
- ④群馬県知的障害児者生活サポート協会総合補償制度への加入を促進します。
- ⑤地域生活勉強会  
地域生活を支えていくための社会資源の整備や制度づくりなどについて学び、意見交換を行います。
- ⑥おしゃべり交流会の開催  
前橋市総合福祉会館にて月1回開催(概ね第2火曜日)テーマを決めて勉強及び自由に話せる時間を持ちます。
- ⑦本人レクリエーション(ボウリング大会等)  
県サポート協会の支部支援活動助成を申請して実施します。



## ひまわり会 (特別支援学校卒業生等を支援する会) のご紹介

ひまわり会事務局長 浜口千代子

ひまわり会は平成12年7月に群馬大学教育学部附属養護学校(現特別支援学校)卒業生を支援するために発足した会です。「卒業生の生活並びに社会自立の支援に関する事業を行う」ことを目的に活動を始めました。群馬県内の特別支援学校卒業生・在校生の会員もいます。主に本人への余暇活動支援・本人家族の相談支援を中心に活動しています。余暇活動支援として「クラブスペースワールド」「ふれあい農園」「陸上サークル」「サッカークラブ(TSUBASA FC)」があります。事務局は群馬大学教育学部附属特別支援学校内の一室をお借りして、月・水・金の10時～12時の間スタッフがいます。

電話での問い合わせにも対応致します。(TEL・FAX. 027-237-0526)

また、ひまわり会の一番大きなイベントは毎年実施している「ふれあい発表会」です。本人が日頃から練習している活動の成果を発表できる機会を提供しています。紙芝居あり、太鼓、ピアノ演奏あり、歌ありダンスありと素晴らしいパフォーマンスに毎年感心するばかりです。今年も群馬大学教育学部附属特別支援学校の体育館で実施します。

日時10月28日(日) 開場12:00 開演13:00です。ぜひ皆さんお出かけ下さい。

<昨年のふれあい発表会より>



わの会合唱



芳野さんとたこさんのおはなしやさん



今年も6月の「おしゃべり交流会」(6/8開催)に、前橋市障害福祉課より矢島課長さんをはじめ4名の各係責任者の皆様にご出席いただき、市の障害福祉について意見交換をさせていただきました。

例年通り、予め市に提出していた「質問及び要望書」(下記に要望項目を掲載)の内容について、要望の具体的な主旨をお伝えして、それに対しての市としての方針や、担当者としての見解、そして実際の取り組み状況などをご説明いただくというスタイルで今年も行いました。

基本的な要望項目は、毎年要望を続けている内容と大きな違いはありませんが、今春「前橋市第5期障害者福祉計画」および「第1期障害児福祉計画」が発表され、そのスタートにあたる時期でもありましたので、その中で示された3年後の目標値に向けて、皆さんからいただいた具体的なニーズを明確にお伝えして、実現に向けての期待値の高さを感じていただけるような内容で提出しました。

特に今年も1番に掲げた要望は「地域生活支援拠点」についてで、24時間365日いざというときに安心して対処してもらえる安心拠点の整備ですが、昨年度末までには全国的に多くの圏域で実現できず、県内でも1カ所も設置されていないという厳しい現状の中、前橋市でも新計画に引き続き、整備目標を示していただきました。その具体的な方向性についてお尋ねしたところ、基本的には現行の資源を組み合わせる「面的整備」を検討されているとのご回答でした。24時間体制の相談支援を中核とした整備への期待を重ねてお伝えしました。

また、グループホームの充実についても要望し、特に総合支援法の改正で新たに創設された重度化・高齢化に対応する「日中支援型グループホーム」の早期実現や、体験事業の積極実施に向けて、ホームごとの空室情報公開なども含めて、資源の拡充をお願いしました。毎年徐々に増加はしていますが、まだまだ絶対数の不足による課題も多くありますので、一層の推進をお願いしています。

その他、多くの課題について意見交換を行い、それぞれの課題についてあらためて問題意識を共有することができたのではないかと思います。

今後も本会として、本人や家族の要望の集約に一層努力して、市にお届けしていきたいと思っておりますので、会員のみなさんもこれまで以上に、積極的にご参加くださいますよう、お願いいたします。

お届けした「質問及び要望書」の全文や当日の様子はホームページにて掲載いたします。紙面の都合上、こちらではその抜粋のみご紹介いたします。



1. 本格的な(24時間365日対応の)「地域生活支援拠点」等の早期整備
2. グループホームの充実
3. 障害者虐待防止法・差別解消法の啓発等強化
4. 大震災等非常時における避難等について、障害のある方々等特別に配慮が必要な方々への対応方針を整備、その内容等の周知徹底
5. ヘルパーステーション・サービスステーション等の拡充と利用料補助
6. 健康管理の充実
7. 障害者福祉に従事する関係者の処遇改善

### 平成30年度 前橋市手をつなぐ育成会役員紹介

会 長	原澤 正光	副 会 長	笠原 秀樹	会 計	吉田ひとみ	事 務 局	赤石ヤス子
副 会 長	向井 道子		中山さち江		阿部 尚子	顧 問	太田 隆也
	市根井雅彦	書 記	茂木加代子		廣瀬 明美		佐藤 博之
	前川 知三		丸山千恵子	事 務 局	岡村 昭義	会 計 監 査	富永美喜子
	関口 純子		大島 佳織		高山 由貴		飯島 琴美
	高橋まさ子				柳澤 美樹		黒岩 全代

#### お知らせ

群馬県育成会大会	7月28日(土)	安中市文化センター
福祉パレード	9月11日(火)	群馬県庁・前橋市役所
手をつなぐ育成会 関東甲信越大会 川崎大会	9月14日(金)	川崎日航ホテル
保護者研修会「親なきあと」を考える	10月	群馬県社会福祉総合センター
ゆうあいハイキング	11月10日(土)~11日(日)	国立赤城青少年交流の家

#### 編集後記

蒸し暑い日が続くなか、みなさん体調を整えて乗り切りましょう。(関口)